

雜 錄 Miscellaneous

○はひこもちしだ果シテ國外ニ産スルカ

はひこもちしだハ余ガ昭和 6 年 8 月 11 日豆州天城山中ノ淨蓮ノ瀧附近ニ見
出シ之ヲ牧野先生ニ報ゼシニ始マル（外ニ既ニ知ツテ居タ人ハ勿論アロウガ）。
其時出來タ學名ガ *Woodwardia radicans* Sm. var. *unigemmata* MAKINO デ和
名ガはひこもちしだデアツテ其間ノ消息ニ就テハ本誌 II, p. 22-3 (1918) ニ
述ベテ置イタシ牧野先生ノ記載モ同號歐文欄ニ出テ居ル。其後中井先生ハ植物
學雜誌 XXXIX p. 103 (1925) ニ於テ學名ヲ *W. unigemmata* (MAKINO) NAKAI
和名ヲ淨蓮しだト改メラレタ。然ルニ CARL CHRISTENSEN 氏ハ Contribution
from the United States National Herbarium, Vol. 26 part 6, p. 307 (1931)
ニ於テ Asiatic Pteridophyta collected by JOSEPH F. ROCK 1920-24 ナル題
下ニ中井博士說ニ賛成セズ牧野博士ノ說ニ賛成ダト述ベテ居ル。勿論種ニスル
モ變種ニスルモ此ノ羊齒ノ存在ニハ何等ノ影響ハナイカラソナ事ハドウデモ
ヨイガ、更ニ本品ガ南支那ニ於テハ普通ナ羊齒ダト言ツテ居ル點ハ注目ニ價ス
ル。CHRISTENSEN 氏ハ果シテ type locality カラ得タ標本ト比較シテ言ツテ
居ルノデアルカドウカ疑ハシイ。若シ彼氏ノ說ガ正シイナラ此羊齒ノ地理的分
布ハ擴大セラル、事ニナルガ、今直チニ其ノ說ニ雷同スル勇氣モナイカラ其儘
ニシテ後ノ學者ヲ待ツ事ニスルガ、茲ニ注目スベキ事ハ秦仁昌氏ガ靜生生物調
査所彙報第 II 卷第 1 號ニ同様ノ意見ヲ述べ、學名ハ中井博士ニ從ツテ居ル事
デアル。

（久内清孝）

○そてつなノ學名ニ就テ

余ハ本誌十卷十號 661 頁ニ於テ牧野先生ガわだんノ學名ヲ *Lactuca platy-*
phylla MAKINO ト改メラレタ折、そてつなガ *L. lanceolata* MAK. ヘ置去リ
ニサレタト書イテ置イタガ、其後同先生ニ伺ツタ其レガ先生ノ御意思デアル
トノ事デアツタ。即チ先生ハそてつなハほそばわだんノ變種トシわだん丈ハ獨
立スベキ別ノ物ダト云フノデアル。然ルニ中井先生ハほそばわだんモわだんモ
そてつなモ全部 *Crepidiastrum lanceolatum* (HOUTTUYN) NAKAI ナル種名ノ
下ニ統一サレテ居ルカラ茲ニ兩大家ノ意見ガ對立シテ居ルト云フ事ガ明白ニ認
識サレタ譯デアル。

（久内清孝）